

毎日の食を豊かに、明日の食を守り続ける。



私たちは食を扱う企業として、毎日の食生活を豊かにする事業活動とともに、明日の食を守るために、サステナビリティ活動に取り組むことで、人々の幸せを実現していきます。

多様な人財が活躍し、地球環境、そして「食」を守り続けることで、2047年に100年企業となり、その先も発展していきます。

サステナビリティ基本方針

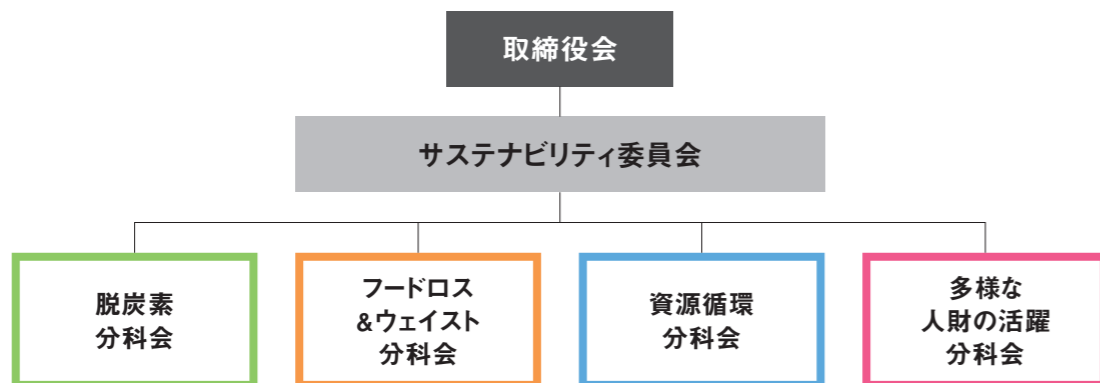
加藤産業グループは、「豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること」というミッションを通して、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を目指します。そのために、4つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、これらの解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

4つのマテリアリティ



サステナビリティ推進体制

代表取締役社長執行役員を委員長とするサステナビリティ委員会を設置しています。サステナビリティ委員会の下部には、マテリアリティごとの4つの分科会を設置し、意思決定できる体制を整えています。



目指す姿と2030年目標

マテリアリティ	目指す姿	2030年目標
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン全体の脱炭素のために、生産者から消費者までの全体最適を実現する ● 省エネルギー、創エネルギー、非化石エネルギーの調達、カーボンオフセットの活用により、カーボンニュートラルを達成する 	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量の削減 2021年度比 30%削減
フードロス & ウェイスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用食品の廃棄量を削減するために、サプライチェーン全体を最適化するプラットフォームを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄金額2021年度比 50%削減 ● 返品金額ゼロ
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷を低減するために、石油から新たに作られるプラスチックや、適切に管理されていない森林由来の紙資源を使用しない流通システムを構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流資材における代替プラスチックへの移行とプラスチック類の再資源化100% ● すべての自社ブランド商品におけるサステナビリティへの配慮
多様な人財の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な能力、価値観を持った人財が、それぞれの立場で活躍できる会社となる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女の固定的な役割分担意識や処遇における不平等を解消し、男女ともに安心して働き続けられる職場環境を全員で作りに上げる

※「目指す姿」の達成時期は、当社が100周年を迎える2047年を想定しています。

サステナビリティに配慮した展示会・新製品発表会

毎年神戸国際展示場にて、当社主催で開催している総合食品展示会(年2回)、新製品発表会(年2回)では、以下のようなサステナビリティへの配慮を行っています。

- 会場で使用した電力をカーボン・オフセット^(※)し、会場のCO₂排出量ゼロに!
- 余ったサンプル商品を寄贈し、“もったいない”を“ありがとう”に!
- 試食容器をプラ容器から紙製容器へ切替え(一部)、環境にやさしく!



(※)日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方